

第 5 学年 学級活動（2）指導案

日 時 平成 30 年 11 月 20 日（火）

第 5 校時 13：15～14：00

1 題材「災害から身を守るために」 学級活動（2）ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 題材について

（1）児童の実態

本学級では、これまで自分の考えを相手に伝える活動を各教科で取り組んできた。多くの児童は積極的に友達に関わり、伝え合うことができるようになってきた。しかし、自分の考えをもっていてうまくコミュニケーションをとることや、自分の考えをもつことが苦手な児童もいる。これらの児童のためにも、授業では問題を自力解決できるように問題把握に配慮した指導や、また、相手の考えを認め合う学級づくりにも取り組んでいる。

今回のプログラミング教育を取り入れた学習では、考えを整理し、理由を付けて順序立てて伝えることを通して、自分の考えを見直し、深めていくことができるようにしていく。そして、プログラミング教育の入口として、初めての児童にとっても抵抗なく学習活動に取り組むことができるように指導していく。

（2）題材設定の理由

児童の実態を踏まえ、災害発生時に自ら進んで行動に移すことができる児童を育てる必要があり、児童に見合った教材を選んで指導にあたろうと思う。自分の命は自分で守るという「自助」の観点から、危険をあらかじめ予測して、取るべき行動を活動を通して、地震に限らず様々な危険や災害があることを知り、いざという時に冷静かつ安全に行動できる能力や態度を育成したい。

3 第 5 学年及び第 6 学年の評価規準

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	自分の生活行動を見直し、自ら安全に配慮し、危険を予測できる力や的確に行動できる力を高めていこうとしている。	事故や災害時の安全に関することについて考え、対処方法について実践している。	話し合い活動を通して決めためあてを実践する学習から安全や危険予測について理解している。

4 指導計画

日時	児童の活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
11 月 14 日	・コンピューター、プログラミングについて、様々な活動を通して、知る。	・アンケート結果をもとに、プログラミングに対して抵抗感がないように指導する。	【関心・意欲・態度】 友達と協力して、進んで話し合い活動に取り組んでいる。 (発言・ワークシート)
11 月 16 日	・地震の時の安全な避難の仕方を考える。	・避難時になぜ、そのような行動が必要なのかを考えさせる。	【思考・判断・実践】 地震の時の安全な避難の仕方を考えている。 (発言・ワークシート)

11月20日 (本時)	・火事の時の安全な避難の 仕方を考える。	・避難時になぜ、そのような行動 が必要なのかを考えさせる。	【思考・判断・実践】 火事の時の安全な避難の仕方 を考えている。 (発言・ワークシート)
平成31年度 (予定)	・来年度入学の1年生に向 けて、災害時における安全 な避難の仕方を教える。 る。	・災害が起きた時のために、避難 訓練でどのような行動をとれ ばよいのか、授業で学習した ことを生かし、新1年生に説 明できるようにする。	【知識・理解】 安全や危険予測について理解 している。 (発言)

5 本時 (全4時間中の第3時間目)

(1) 本時のねらい

事故や災害時の安全に関することについて考え、対処方法を話し合っている。(集団や社会の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点	資料	評価規準 (評価方法)
導入	1 前時までの学習活動を振り返る。 ・地震時における安全な避難の仕方について	・前時の振り返りを紹介して学習内容を想起させる。	前時に作成した フローチャート 分岐カード	
	2 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">火事の時の安全な避難の仕方を考えよう。</div> ・火事の時の避難の行動を出し合う。	・どのような行動があるか、確認する程度にしておく。		
展開	3 自力解決をする。 ・選んだ行動のカードを、避難する時の順序に並べる。 ・空欄カードに、必要だと考えた避難行動を書き込む。	・避難時の行動は状況に応じて多様化するため、本時では「教室で授業中、給食室から火災が発生した」という条件を設定する。 ・避難時の行動について、なぜその行動が必要なのか理由を考えさせる。	やることカード (掲示用・児童用) ボード	事故や災害時の安全に関することについて考え、対処方法を話し合っている。 (行動観察・ワークシート)
	4 ペアで話し合う。 ・避難時の行動を選択したカードをもとに話し合う。 ・相手を変えて、3～5人と話し合う。 5 全体で話し合い、安全な避難時の行動の順序を考える。	・自分の考えを見直し、深められるようにするために、友達との交流の時間を十分に確保する。 ・全体でいくつかの行動順序を実際に動いて確認する。		
終末	6 課題に対し、振り返りをする。	・課題についてまとめ、本時の感想を書いて、学習を振り返らせる。	ワークシート	

授業観察の視点

- ・児童は火災発生時の避難の仕方について、プログラミング的思考を用いて考えることができる授業展開であったか。
- ・学習活動で用いた資料や用具は、自分の考えをもち、話し合うために適したものであったか。